

(事前C)

評価委員会総合評価

研究課題名：放射収支の監視システムの高度化と気候変動要因解明に関する研究

評価委員

委員長：瀬上 哲秀

委員：三上 正男、中村 誠臣、齊藤 和雄、露木 義、山田 眞吾、
藤部 文昭、角村 悟、横田 崇、蒲地 政文、千葉 剛輝、井上 卓

評価年月日：平成 25 年 12 月 24 日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 ☒ 可 ☐ 否
(2) 修正の必要の有無 ☐ 修正の必要あり ☒ 修正の必要なし

2. 総合所見

本研究は、平成 25 年度終了課題「地上観測による大気要素の放射収支への影響の実態解明」を引き継ぐものである。

本研究の対象である放射収支過程は、地球環境の平均的な状態を決定する本質的な要素であり、観測技術の高度化とモニタリング、変動の実態と要因の解明といった研究内容は、学術的に意義のあるものである。

また、新たに開発する分光日射計による研究によって、放射収支研究の新局面を切り開くことも期待できる。

本研究の基盤となる技術や知見は、気象庁の環境気象業務を含め、様々な分野への貢献が期待できるものであることから、モデル開発グループや気象衛星ひまわりの多チャンネル観測データ利用技術の担当者などと連携し、積極的に取り組んで欲しい。特に、雲エアロゾル放射ミッション (EarthCARE) プロジェクトへの協力にあたっては、所内外の雲・エアロゾル関連の研究者との情報交換や連携を強化して、効果的に進めて欲しい。